

- 問1 三内丸山遺跡の調査結果から推測される、縄文文化の生活や社会の様子について正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 大陸から青銅器や鉄器が伝わり、武器や祭具として使用されることで集落間の争いが激化した。 | 2. 豊かな自然環境を背景に、狩猟・採集・漁労を行いながら大規模な定住生活を営んでいた。 | 3. 大規模な灌漑設備を用いた水田稲作が普及し、食料を蓄えるための高床倉庫が主流となった。 | 4. 前方後円墳などの巨大な墳墓が築かれ、広域を支配する強力な王権が誕生していた。 |
|--|--|---|---|
- 問2 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものが多くあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。 | 2. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。 | 3. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまうことを前提とした観賞用。 | 4. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。 |
|---|--|---|--|
- 問3 縄文時代における食生活の工夫と、それに伴う住環境の変化について述べた文として正しいものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 青銅器や鉄器などの金属器を用いて効率的に食料を生産するようになり、外敵を防ぐための環濠集落が作られた | 2. 大陸から伝わった稲作が広まったことで食料の余剰が生まれ、それを保管するために高床倉庫が普及した | 3. 氷河期が終わり温暖になったことで大型動物が絶滅したため、移動を繰り返しながら洞窟で暮らすようになった | 4. 狩猟・採集による食料確保に加え、土器で煮炊きを行うことで食べられるものが増え、竪穴住居での定住が進んだ |
|---|--|---|--|
- 問4 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|----------------|------------------|------------------|
| 1. 三内丸山遺跡 — 弥生時代 | 2. 登呂遺跡 — 弥生時代 | 3. 吉野ヶ里遺跡 — 弥生時代 | 4. 三内丸山遺跡 — 縄文時代 |
|------------------|----------------|------------------|------------------|
- 問5 縄文時代において、人々が定住生活を送る中で作り出した遺物のうち、表面に縄目の文様が見られることが多く、食物を煮たり保存したりするために活用された道具の名称とその特徴として適切なものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 高温で焼かれた灰色で硬い、貯蔵用の須臾器 | 2. 薄手で赤褐色をしており、文様が少なく実用的な弥生土器 | 3. 古墳の頂上や周囲に並べられた、人物や馬の形をした埴輪 | 4. 厚手で黒褐色をしており、低温で焼かれた縄文土器 |
|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|----------------------------|
- 問6 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------|---------------------------|----------------------------|
| 1. 埴輪 — 亡くなった王の権威を示し、供養するため | 2. 土偶 — 豊かな収穫や安産を祈るため | 3. 勾玉 — 魔除けや身分を示す装飾品とするため | 4. 銅鐸 — 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため |
|-----------------------------|-----------------------|---------------------------|----------------------------|
- 問7 縄文時代の人々の暮らしと文化についてまとめた資料によると、当時の人々は磨製石器などの道具とともに、土器を作り始めました。縄文時代において、土器が果たした主な役割として適切なものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-------------------------|
| 1. 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするため | 2. 大陸との交易において、貨幣の代わりとして使用するため | 3. 大規模な稲作を行うための、種みを長期間保管するため | 4. 金属を溶かして、より強力な武器を作るため |
|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-------------------------|
- 問8 縄文時代の遺跡から出土する、表面に縄目の文様が施されたり、大きな眼鏡のような目を持つ「遮光器土偶」などの土製品について、その当時の使われ方として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。 | 2. 食物の豊穰や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。 | 3. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。 | 4. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。 |
|---|--|--|--|
- 問9 縄文時代に作られた、まじないや豊かな収穫、安産などを祈るために用いられたとされる、人や動物をかたどった土製品を何といいますか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1. 埴輪 | 2. 青銅器 | 3. 石包丁 | 4. 土偶 |
|-------|--------|--------|-------|
- 問10 縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。 | 2. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。 | 3. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。 | 4. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。 |
|---|---|--|---|
- 問11 縄文時代の遺跡である貝塚の周辺から発見される、表面に縄目などの特徴的な文様が施された道具について、その主な使用目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--------------------------------------|---|
| 1. 亡くなった人を埋葬する際に、副葬品として納める祭祀専用の道具として用いられた。 | 2. 採取した木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするために用いられた。 | 3. 収穫した稲を長期間蓄えるための、貯蔵専用の器として主に用いられた。 | 4. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を加工するための、高温の炉として用いられた。 |
|--|---|--------------------------------------|---|
- 問12 約1万年以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた | 2. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された | 3. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた | 4. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した |
|--|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問13 青森県にある三内丸山遺跡の特徴を説明した新聞記事において、この遺跡が「縄文時代の生活観を大きく変えた」とされる理由として、当時の人々の暮らしの様子を正しく説明しているものはどれか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 打製石器を用いてナウマン象やヘラジカなどの大型動物を追いながら、移動生活を繰り返していた。 | 2. 青銅器や鉄器などの金属器が普及し、身分の差が生まれるとともに大規模なクニ同士の争いが起きた。 | 3. 大型掘立柱建物跡や多数の竪穴住居が見つかり、長期間にわたる大規模な定住生活が行われていた。 | 4. 本格的な稲作が始まり、食料を蓄えるための高床倉庫や、周囲を堀で囲んだ環濠集落が形成された。 |
|--|---|--|--|